

若者が 挑戦できる社会を

栄屋乳業株式会社(アンデイコ)
代表取締役社長

野田 陽太郎 氏



教育随想

グローバル化が進む現代において、国家や企業間の競争は一層激化しています。直近では、トランプ大統領の政策によって、為替や株価が大きく変動し、経済環境はますます不確実で厳しいものとなってきています。一方、国内では少子化の影響で、二〇四〇年までに労働人口が約千百万人減少すると予測され、特に地方の人材不足は深刻な課題となっています。

このような状況下、企業が生き残るにはAIなどの新技術を導入し、組織の構造や働き方を柔軟に変えることが不可欠です。ただし、AIに頼りすぎると主体性や創造力が損なわれ、変化への対応力が弱まる恐れもあります。

弊社は一九四六年の創業以来、約八十年にわたり挑戦を重ね、数々の

困難を乗り越えてきました。その中でアメリカ経営を導入し、役職や雇用形態、国籍を問わず、全従業員が関わりをもつて行う「全員参加」の経営を重視しています。多様な価値観をもつ仲間が主体的に考え、行動し、互いに支え合うことが変化の激しい時代に必要な力だと考えています。また、従業員一人ひとりの声を尊重し、個々の成長を会社の力に変えることにも注力しています。

先の見通しが立ちにくい時代だからこそ、一歩踏み出す行動が重要です。たとえ失敗しても、挑戦する人には仲間が集まり、助け合う文化が自然と生まれてきます。今年も多くの新入社員が入社してくれました。若い世代には「失敗してもいいから挑戦しよう!」と伝えています。まずは、仕事を覚える前でもできる



(のだ ようたろう)

「積極的なあいさつ」から、和を広げるよう促しています。価値観の違いを越え、意見を出し合い、挑戦して支え合う和の文化を岡崎から広げ、失敗しても再挑戦できる社会の実現に繋げていきたいと考えています。



令和7年7月1日

7月号

発行・編集
岡崎市教育委員会

今月の紙面

- 教育随想…………… 1
栄屋乳業株式会社(アンデイコ)
代表取締役社長
野田 陽太郎 氏
- この人に聞く…………… 2
菅生神社 宮司
児玉 隆司 氏
- 羅 針 盤…………… 2
算数・数学科指導員
西尾 修一
- ふれあい…………… 3
六名小学校
教諭 太田 周作
- 特 集…………… 4
岡崎市中山間の地域おこし
- お知らせ…………… 6
- フォト・ヒストリー… 8
委員会活動
(昭和五十二年)
- この本を…………… 8



伝統を紡ぎながら新たな発想を

菅生神社 宮司

児玉 隆司 氏

花火と鉦船（はこせん）が描かれた菅生祭の限定御朱印や、美しい花が浮かんだ手水鉢が、参拝客の目を楽しませる。菅生神社は約千九百年続く岡崎最古の神社である。この由緒ある神社の存在と価値を多くの人に知ってもらいたいと、柔軟な発想で神社を運営する宮司の児玉さんに話を伺った。

なぜ宮司になったのですかー

私は元々、ソニーに勤める会社員でした。定年の一年前、妻の実家が兼務していた菅生神社を継いでほしいと頼まれ、平成二十五年に宮司に就きました。私が着任したとき、菅生祭は広く市民に知られていたものの、菅生神社自体はあまり知られていませんでした。

「御朱印やSNSに力を入れるきっかけとなった出来事や理由を教えてください」

平成二十七年に「岡崎泰平の祈り」のイベントが行われるというので、大きな提灯や行灯を用意したところ、多くの人が菅生神社に参拝し、御朱印を求めてくださいました。その後、参加者アンケートで、その日に参拝した記念になるものがあればという声を受け、翌年から限定の御朱印を用意することにしました。菅生神社について多くの人に知っていただくきっかけになりました。

御朱印のデザインや菅生神社のホームページ作成、参拝者を待たせることなく御朱印をお渡しする方法を考えることは、会社勤めの経験が生きました。また、SNS等のツールを使うことで、スピードと発信力が高まりました。初めは畑違いの仕事で苦労しましたが、その分、試行錯誤をしながら、新しい取組に挑戦することができました。

「御朱印やSNSに力を入れたことでどんな反響がありましたかー」

参拝者が増えたことがいちばん大きな反響だと思います。平成二十九年に限定御朱印が新聞に取り上げられたときは、全国から二千人もの人が集まりました。

御朱印をきっかけに、参拝に毎月来てくださる方もいます。「参拝を楽しみにしている」と声をかけてい

ただいたときは、とてもうれしかったです。また、参拝者以外には、市役所の方から相談を受け、外国人旅行者に対する香やお守り作り教室などのアイデアを提案するなどしました。忙しくなりましたが、そのおかげで人とのつながりが広がり、やりがいや楽しさを感じています。

「様々な取組をする中で心掛けていることはありますかー」

新しい試みをしようとするとき、神社の品格を下げてしまわないように気を付けています。神様がいることを参拝者が空気を感じ、今の生活に感謝することや、これから丁寧に生活していきたいと思えるきっかけになるよう、境内を整え、参拝者への丁寧な対応を心がけています。

また、御朱印の図柄に関しては、菅生神社の由緒・祭礼等を紹介するものにしていきます。

「今後の抱負を教えてくださいー」

参拝者に喜んでもらえるように、新しいお守りや御朱印帳のデザインを考えています。新しいことに挑戦し、日々頭を切り替えて取り組むことが私には楽しく感じるので。



氏名 こだま たかし
生年月日 昭和二十九年
四月十五日



深い学びに迫る授業づくり

算数・数学科指導員

西尾 修一

深い学びに迫るためには、子供が学びの過程で既習の知識を関連付けて、「数学的な見方・考え方」を働かせて学ぶことが必要となる。

A教諭は、小学四年生の算数で、複合図形（L字型）の面積の求め方を考える授業を行った。本時で働く「数学的な見方・考え方」としては多様な考えを「求積できる既習の図形をつくる」という共通点で同じものとして捉えることである。

A教諭は、子供から多様な考えを引き出すために、教科書にある複合図形を補助線で区切りやすいように、縦と横を同じ数値にしたり、偶数にしたりして提示した。子供は、予想通り、複合図形にさまざまな補助線を入れ、多様な考えをもつことができた。A教諭はその後、子供たちの考え方を全体で共有するととも



だれかを喜ばせるために

六名小学校

教諭 太田 周作

「みんなは僕を分かってくれない。」
一年生との交流会に関する学級会で、Aさんのドッジボールという意見が、級友に反対された。すると、Aさんは机に伏せてしまった。

その後、クラスを十一人一チームの三チームに分けてそれぞれで学級会を行い、交流会の企画や準備を進めていった。Aさんのチームは、Aさんと仲のよい友達が司会者として話し合いを進めていた。困っている子に寄り添い、助けながら進行する姿を見たAさんは、自分も司会をやってみないと、私に伝えてきた。Aさんが、前向きな気持ちになったことがうれしかった。

Aさんの思いを受けて、次の学級会では司会を補助する副司会者を設けた。そしてAさんに、こう伝えた。「意見をなかなか発表できない仲間

がいたら声をかけ、チームの話し合いにつなげてね。」

しかし、その話し合いでAさんは自分の意見を通そうとし、同じチームの子が意見を出しにくい雰囲気を作ってしまった。私が、

「話し合いで困っている子を助けてあげられたかな。」

と問いかけると、Aさんは下を向き黙り込んだ。そして小さな声で、

「だって自分しか話そうとしないんだもん。」

とつぶやいた。自分のようには発言できない周りの級友のことを、Aさんはやる気がないと感じてしまっているのかもしれない。そこで私は、タブレットに書かれたBさんの意見をAさんに見せた。すると、Aさんは、驚いた顔をして画面を見つめた。「Aさんがこの意見をうまく学級会に取り入れてくれると、一年生も楽しめる企画になると思うな。」

Aさんは、「やってみる」と真剣な眼差しで答えた。

次の学級会では、前回意見を言えなかったBさんの考えを引き出そうと、前のめりで話を聞いているAさんの姿があった。振り返りには「Bさんが真剣に考えていることに気付くことができたし、Bさんの役に立ってよかった」と書いていた。人の思いを引き出し、一つのものを作り上げていく喜びを感じることができたようだった。

そして、交流会の細かな動きを決める大切な学級会。意見が言えず、困っている友達に近寄って「自信をもつて言えばいいよ」と耳打ちをしたり、「Cさんがためになることを言っているから、うまく取り入れられないかな」とチームに呼びかけたりするなど、友達のサポートを優先するAさんの姿があった。

交流会当日、一年生のために体育館を動き回るAさんがいた。一年生への説明の場面では、目線を合わせて優しく言葉をかけていた。そんなAさんは一年生に大人気だった。

交流会後、「楽しい企画になったのは、Aさんのおかげだったよ」と言う、

「友達や下級生を喜ばせることを考えるって意外と難しかった。でも、みんなとやり切れて楽しかった。」
Aさんは笑顔で答え、教室へ戻っていった。



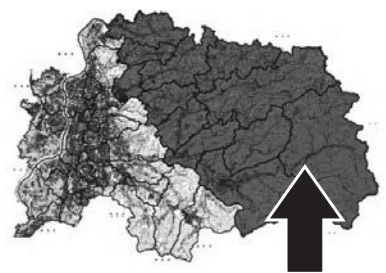
に、子供の発言に出ていた「長方形」「正方形」などの名前をキーワードとして強調して板書した。そのうえで、A教諭は「共通点は何か」という発問を投げかけた。子供は板書された多様な考えの中に「長方形や正方形をつくる」という共通点があることに気付く姿を見せた。「数学的な見方・考え方」を働かせ、それぞれの考えを同じものとして捉えることができたのである。

その後、A教諭は「他にも面積が求められそうな複合図形はあるかな」と発問した。「既習の図形」を組み合わせれば、求積できることに気付いた子供たちは、階段型や花壇型など、さまざまな図形を作ることができた。四角形を半分に切ること、未習の三角形の求積もできると発想する子供もいた。そこには、「既習の図形」に着目することに価値を見出し、学びを深めている子供の姿があった。

深い学びに迫るために教師支援は欠かせない。なぜなら、子供だけでは、働かせた数学的な見方・考え方やその価値に気付かないことがあるからである。教師は、本時で働く数学的な見方・考え方を明確にして授業に臨み、その見方・考え方を引き出す。そして、子供がその価値を感じられるようにする。それが、深い学びに迫る授業づくりとなる。



▲額田の「ミネアサヒ」の田植え体験



岡崎市の中山間地域

〔「岡崎市中山間地域活性化計画」対象地域〕

全国的に、人口減少や少子高齢化が進み、中山間の若者を中心とした、都市部への人口の流出が課題となっている。岡崎市も例外ではない。

岡崎市では、地域コミュニティや生活インフラ整備、鳥獣害対策といった地域生活の維持のため、魅力ある持続可能な地域づくりを目指し、令和三年度に中山間政策課を新設した。そして、市の約六割の面積を占める中山間地域の活性化や定住促進を目的として、同年より「地域おこし協力隊」の募集を始めた。市外から地域の将来の担い手となる人材を積極的に受け入れ、額田地域を元気づけるような取組を通して、将来的な集落機能の維持・強化を図っている。今まで額田の自然や産業を生かした、いくつもの企画が行われてきた。

こうした取組は、岡崎市の中山間地域の魅力を地域外の人にもふれてもらい、市外にいる額田地域のファンを獲得するとともに、地元の人々が、改めて地域の価値や魅力を再発見するきっかけづくりにもなっている。市内の中山間地域を学区とする全ての小中学校では、地域の特色を生かした体験活動や総合的な学習、生活科の学習などを行い、住民と関わり合いながら、探究心を育む学習を行っている。

令和三年度より本格的に始まった地域おこしも、四年目を迎える。活動前後を比べると、移住相談の件数も増加傾向にある。

岡崎市の中山間地域には、魅力と可能性が満ちている。これからも、豊かな自然と共に生き、学んでいく子供たちにとって、愛するふるさとであり続けることを願う。

「地域おこし協力隊」とは

地域外の人々の視点を生かして、地域の生活や暮らしを守りつつ、地域資源に新たな価値を見出し、額田地域に活力を生み出すことを目的に活動する。委嘱期間は最長三年。現在は三名が委嘱を受け、活動を行っている。

「元・地域おこし協力隊員」松田紗代さん

稲沢市出身。岡崎市で初めての地域おこし協力隊隊員。田舎暮らしを体験できる企画「ヌカトリップ」を立ち上げ、自ら額田に移住して地域の魅力を発信してきた。今年四月、三年の任期を終えたが、その後も額田地区を拠点に活動している。



会社員として働いているときに、地域課題を考えるフィールドワークで訪れたのが、岡崎市の額田地区でした。そこで額田の可能性に惹かれ、「地域おこし協力隊」に応募しました。

企画を通して、たくさんの人に来てもらうことはもちろん大切ですが、持続的な地域づくりを行うためには、住民がアイデアを出し合ったり、新しい取組を始めたりできる環境が重要です。人がいるだけでなく、行動に移せるように、みなさんの心の中にある思いをつなぎ、魅力ある地域づくりを実現していきたいです。

今、岡崎市で暮らしている子供たちには、ぜひ自分の地域に興味をもってほしいと思います。少し離れた山で、非日常を体験すると、自分の地元のよさや魅力に気付くかもしれません。

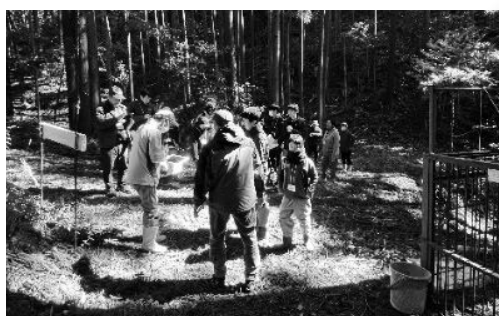
中山間地域の「あたりまえ」を「みりょく」として体験できる



▲茶摘みと茶畑整備（宮崎地区）



▲餅つき体験（夏山地区）



▲アニマルトラッキング（宮崎地区）

**みりょく
発信**
～地域のよさを
伝えるイベント～



▲生蜂蜜搾り体験（夏山地区）

SNSを活用した情報発信も積極的に行っている



ぬかたおこし
Instagram



やまのいろ実験室 いろいろ
Instagram



▲SNSを通して告知された様々なイベント



▲瀧山寺修復工事の見学（常盤小）

**みりょく
発見**
～地域の特色を
生かした教育活動～



▲米作り体験学習（豊富小）



▲林業体験学習（夏山小）



▲ふるさと再発見ツアー（宮崎小）



▲市外の小学校と稲刈り交流（下山小）



いろいろな坂

所長 高橋 誠

人生には、いろいろな坂がある。そして自然の家にも、いろいろな坂がある。しかし開所以来、それらの坂は無名のままであった。そこで昨年度末に所員で知恵を絞って、主な坂に名前を付けた。

まず、バスを降りて事務所前までの坂。そこには「こうよう坂」と名付けた。「自然の家に来たぞ」という期待に



●少年自然の家だより

満ちた「高揚」感と、秋の道沿いの燃えるような「紅葉」と、二つの意味をもたせた。

次に、運動場からキャンプ場までの坂。雨の日、軽トラツクがスリップしてしまう「魔の急坂」である。そこを「か

れい坂」と名付けた。一つ目は「カレライス」を作り上げる坂という意味。二つ目は「加齢坂」。引率者の身に染みるという意味を込めてある。子供たちは、笑顔で会話を続けながら上りきる。その中で引率の先生たちは、会話も断ち切り、はじめは先頭にいたが、息も絶え絶えに、最後は最後尾になって上ってくる。着いてすぐ、広場の長椅子に座り込んで、お茶を飲む先生も多い。「校長先生、運動不足ですね」と、涼やかに話す若手にとっては、「華麗坂」か。

この二つの坂を含めて、六か所に名前を付け、看板を取り付けた。ちなみに他の四つは「うさぎ坂」「かめ坂」「焰（ほむら）坂」「ワクワク坂」である。自然の家に来たらぜひ探してみてほしい。

開所四十八年目を迎えている自然の家。施設内の設備や自然環境は「加齢」＋「異常気象」のため、老体に鞭打つての状況ではある。しかし、雨天時炊飯方法の改善やグレーチングを用いたキャンプファイヤー用井桁組みの効率化、創作クラフト種の多様化など、内面的には年々進化を遂げている。中学校のワンデ

●表彰

◆第41回愛知県中学生柔道選手権大会

○男子の部

3位

岡崎WEST

○女子の部

3位

岡崎ALL

●教育図書室

教育研究所内にある教育図書室は、八千三百冊以上の教育図書を蔵書している。また、学習指導案や学芸会脚本、運動会DVDなども、毎年、新しいものが追加されている。積極的に活用し、日々の教育活動に生かしてほしい。

・所在地

総合学習センター（三階）

・休館日

日曜日・月曜日・祝日

（月曜日が休日の場合は、火曜日も休館）

・開館時間

午前九時～午後七時（土曜日は午後五時まで）

・図書の出借方法

①受付で「利用者届出書」を記入し、個人登録する。

②図書を選ぶ（五冊まで）。

③二週間以内に返却する。

・検索と印刷方法

①教育図書室にあるパソコンで検索し、閲覧する。

②資料の「分類番号」を受付に伝え、印刷してもらう。



教職員の相談窓口

【対象】全教職員 【相談内容】・勤務のこと・家庭のこと・心や体のこと 等

相談窓口	電話番号	相談受付日時	あいちこころのサポート相談（SNS）
岡崎市教職員相談ダイヤル	0564-64-3322	火曜日～金曜日 12:00～19:00 土曜日 12:00～16:30	LINE 友だち追加・ID検索 @aichi_soudan 
あいちこころのサポート相談（SNS）	右QRコード	月曜日～土曜日 20:00～24:00 日曜日 20:00～翌月曜日 8:00	
愛知県総合教育センター教育相談	0561-38-2217	月曜日～金曜日 9:00～17:00	
あいちこころのホットライン365	052-951-2881	年中無休 9:00～20:30	
愛知いのちの電話	052-931-4343	年中無休 24時間	

＜令和7年度授業力・教師力アップセミナー【基礎編】【専門編】【推進編】、【ブラッシュアップ研修】＞

1【基礎編】

① 7月23日(水) 午後

研修番号	研 修 名	会 場
1	国語・書写・図書館	総合学習センター 多目的ホール2・3、研修室1・2
2	保健	総合学習センター 多目的ホール1
3	音楽	総合学習センター 小ホール
4	理科	岡崎小学校 理科室・家庭科室
5	家庭	六ツ美西部小学校 家庭科室

② 7月24日(木) 午前

研修番号	研 修 名	会 場
6	算数・数学	総合学習センター 多目的ホール
7	学習情報	総合学習センター 小ホール
8	総合	総合学習センター 研修室1
9	技術(【専門編】含む)	常磐中学校 技術室

③ 7月24日(木) 午後

研修番号	研 修 名	会 場
10	特別支援	総合学習センター 多目的ホール
11	道德	総合学習センター 小ホール
12	外国語	総合学習センター 研修室1

④ 8月1日(金) 午前

研修番号	研 修 名	会 場
13	英語	総合学習センター 小ホール
14	図画工作・美術	総合学習センター 研修室1・2
15	生徒指導	総合学習センター ICT室
16	特別活動	総合学習センター 研修室5
17	体育・保健体育	岡崎高校 体育館・武道場
18	社会	岡崎市消防本部 中消防署
19	生活	根石小学校 図書室

2【専門編】

① 7月24日(木) 午前

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
1	図画工作・美術	総合学習センター 研修室2	堀口 宏章 浅井 優子
2	体育・保健体育	岡崎高校 体育館・武道場	大野 孝輔 稲吉 晃一
3	理科	自然科学研究機構 分子研・基生研・生理研	日下部 教子 竹内 翔

② 7月25日(金) 午後

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
4	社会	総合学習センター 多目的ホール1	平岩 大督 内藤 恵三
5	英語	総合学習センター 多目的ホール3	渡邊 康平 鋤柄 由恵
6	生徒指導	総合学習センター 研修室1	山本 公三 田中友二郎
7	道德	総合学習センター 研修室2	米坂 達也
8	特別活動	総合学習センター 多目的ホール2	菅沼 友香

③ 7月29日(火) 午前(右上段につづく)

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
9	特別支援	総合学習センター 多目的ホール2・3	橋本 啓子 松田 優佳

③ 7月29日(火) 午前(つづき)

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
10	学習情報	総合学習センター 多目的ホール1	太田 尚志 鈴木 広樹
11	音楽	総合学習センター 研修室1・2	服部 晃峰 近藤 雄介
12	外国語	総合学習センター 研修室5	渡邊 康平 鋤柄 由恵
13	生活	総合学習センター ICT室	鈴木 大介
14	家庭	六ツ美中学校 調理室	阿部 祐子

④ 7月30日(水) 午前

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
15	国語・書写・図書館	総合学習センター 多目的ホール2・3、研修室1	石田 勝重 石川 俊之 白形 奈穂
16	算数・数学	総合学習センター 多目的ホール1	西尾 修一 神谷 尚希
17	保健	総合学習センター 研修室2	鈴木 滋子
18	総合	総合学習センター 小ホール	酒井 智之

3【推進編】

① 7月24日(木) 午後

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
1	保健・衛生推進研修	総合学習センター 研修室2	畠中 恵実

② 7月25日(金) 午後

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
2	学習評価研修	総合学習センター 研修室1	深津 伸夫
3	日本語教育推進研修	総合学習センター 研修室2	荒井 留美

③ 7月29日(火) 午後

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
4	特別支援教育推進研修	総合学習センター 多目的ホール2・3	川原場 仁子
5	授業指導研修	総合学習センター 小ホール	小田 幸子
6	食育推進研修	総合学習センター 研修室3	永田 祐己

④ 7月30日(水) 午後

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
7	研究推進研修	総合学習センター 多目的ホール3	永井 利昌
8	生徒指導推進研修	総合学習センター 小ホール	青木 貴之
9	学年経営推進研修	総合学習センター 研修室1	村山 吉弘
10	ICT教育推進研修	形埜小学校 5・6年教室	内田 雅之

＜ブラッシュアップ研修＞

① 7月25日(金) 午後

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
A	子どもの発達や生活の変化を踏まえた課題	総合学習センター 多目的ホール3	永田 勲
E	ICT研修	総合学習センター 小ホール	杉坂 和俊 河合 泰宏

② 7月29日(火) 午後

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
B	国の教育政策や世界の教育の動向	総合学習センター 多目的ホール1	稲垣 幸一

③ 7月30日(水) 午後

研修番号	研 修 名	会 場	講 師
C	学習指導要領の改訂の動向等	総合学習センター 多目的ホール1	金指由香里
D	学校における危機管理上の課題	総合学習センター 研修室2	杉田 吉男

・各タイトル 竜美丘小 横田 舞

〔訂正〕四月号掲載の「各タイトル」に誤りがありましたので、訂正いたします。

・カット 竜南中 浅井有紀

委員会活動 (昭和五十二年)

写真提供：根石小学校

写真は、委員会活動の様子である。交通委員会の子供たちが、学区の交通量の増加に伴い、「交通ルールを守り正しく歩こう」というテーマのもと、話し合っている。

根石小学校は昭和五十二年に、特別活動の研究発表会を開催した。現在でも、委員長が運動会や学芸会の開会セレモニー等を企画したり、放送委員会が児童の応募した映像を編集して昼の放送で流したりと、委員会活動は子供たちの主体性、自主性を重んじる活動として受け継がれている。

各校でも、学校の実情に合わせた委員会活動が行われている。子供たちが自分たちの生活を見つめ直し、よりよい生活を求める活動となっている。



通りかかる人の足を止めたのは、行灯や提灯だった。人を惹きつけるためのアイデアと、神社の由緒を知ってほしいという児玉さんの強い思いが、菅生神社をたぐさんの人たちが参拝に訪れる神社にした。

児玉さんのように現状に満足せず、常に新たなことに挑戦できる教師でありたい。

星空が広がる七夕の空を子供たちは楽しみにしているのではないだろうか。七夕を始め、日本には多くの年中行事がある。「近年、家庭環境の変化等により、年中行事が形骸化している」との報道を耳にした。だからこそ、学校教育を通して、古来より伝わる行事のよさやその意義を子供たちに伝えていきたい。

とホ

文目



▲浴衣の着付け体験（南中）

「次の企画は額田の山×アートで考えています。」笑顔で松田さんは語る。山の草木の色素を絵の具にし、思うままに描く時間を提供する。額田に無限の可能性を感じたあの日から、その魅力は確かな形となって、広がり続けている。

岡崎の自慢は、私たちのすぐそばに、もうすでにある。



*座右のラテン語 ヤマザキマリ ラテン語さん
S B新書 ￥950

心に残った一文

festina lente ゆっくり急げ

人が生きていく上での苦悩や価値観は、時代や洋の東西を問わず普遍的である。本書では、古代ローマ好きの二人が対談形式でさまざまなジャンルのラテン語の格言を柔らかい語り口で紹介する。

本書に収められている65の格言の中には、「賽は投げられた」（カエサル）のように現在でも用いられる言葉も多い。「歴史は人生の教師」（キケロー）とあるように、予測困難な未来社会を生き抜く私たちが、人類の叡智の源泉とも言える古代ローマの格言から学び、道しるべにできることは多いのではないだろうか。

* 人生の壁	養老 孟司
新潮新書	￥880
* 学校の戦後史 新版	木村 元
岩波新書	￥1,000
* 僕には鳥の言葉がわかる	鈴木 俊貴
小学館	￥1,700
大樹寺小学校	川本 祐二